

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)
(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講 師 国立成育医療研究センター研究所
成育社会医学研究部部長 藤原 武男
2. 演 題 ランダム化比較試験が困難な場合の治療・
介入効果を検証する統計手法について
3. 日 時 平成24年7月6日(金)
17時00分 ~ 19時00分
4. 場 所 第3講義室(7号館2階)

5. 内 容

臨床研究において、「治療・介入効果を検討したい」と思うことは多々ある。そのゴールドスタンダードがランダム化比較試験であることは言うまでもないが、実際にはランダム化比較試験として実施することが倫理的に許されない、または難しい場合がある。そのような場合に用いる統計処理の手法として、傾向スコア法がある。今回の講義ではその内容を概説し、実際の応用例についても紹介する。

略 歴

2000年に東京医科歯科大学医学部を卒業し、2004年、同大学大学院にて医学博士号を取得。その後、国立成育医療センターこころの診療部で児童虐待の研究に携わる。さらにハーバード大学公衆衛生大学院にて社会疫学、ライフコース疫学の手法を学び、公衆衛生学修士号(Master of Public Health)を取得。そしてカナダのブリティッシュ・コロンビア大学小児科ヘポストドクトラル・フェロー(博士研究員)として留学。2008年4月より国立保健医療科学院生涯保健部行動科学室長。2010年9月より独立行政法人国立成育医療研究センター研究所成育社会医学研究部部長。2011年4月より三重大学大学院環境社会医学講座成育社会医学分野連携教授を兼任。

連絡先 顎顔面矯正学分野 森山 啓司(内線 5532)